

衆議院予算委員会ニュース

平成 20.2.29 第 169 回国会第 16 号

2月29日、第16回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度一般会計予算
平成 20 年度特別会計予算
平成 20 年度政府関係機関予算
 - ・ イージス艦・沖縄問題等について、福田内閣総理大臣、高村外務大臣、舩添厚生労働大臣、甘利経済産業大臣、冬柴国土交通大臣、石破防衛大臣、町村国務大臣（内閣官房長官）、岸田国務大臣（沖縄及び北方対策担当大臣）、松島国土交通副大臣、江渡防衛副大臣、寺田防衛大臣政務官及び政府参考人に集中審議を行いました。
 - ・ 福田内閣総理大臣、増田総務大臣、高村外務大臣、額賀財務大臣及び大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）に締めくくり質疑を行いました。
 - ・ 増原義剛君（自民）から質疑終局の動議が提出され、採決を行った結果、可決されました。（賛成 自民、公明）
 - ・ 平成 20 年度予算 3 案について採決を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。（賛成 - 自民、公明）

（質疑者及び主な質疑内容）

三原朝彦君（自民）

- ・ 潜水艦「なだしお」と遊漁船「第一富士丸」との衝突事故から20年経過したが、この事故からどのような教訓を得たか。
- ・ 事故防止の観点から、海上衝突予防法の運用を柔軟にするべきではないか。
- ・ 国民から疑念を持たれないよう事故に関する情報についてはできるだけ開示するべきではないか。
- ・ 国民の信頼回復に取り組むことが肝要と思うが、福田内閣総理大臣の決意を伺う。

浜田靖一君（自民）

- ・ 護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故について行方不明者の捜索を徹底して行う必要があるのではないかと、また、海上自衛隊の責任の取り方について石破防衛大臣はどう考えるか。
- ・ 防衛省における土気・規律のゆるみが同衝突事故を引き起こしたとの意見があるが石破防衛大臣はどう考えるか。
- ・ 日本における自衛隊艦艇あるいは諸外国における軍艦が関係する海難事故において日本と諸外国で捜査手法が異なる点は何か。

西銘恒三郎君（自民）

- ・ 世界各国に駐留している米軍兵士が不祥事を起こした場合の罰則等について、米国あるいは米軍において何らかの法律・規則等が存在するのか。

- ・ 日米地位協定について、日米合同委員会において運用の改善に係る合意事項がなされた場合、追加・修正という形で明文化していく必要があるのではないかと。
- ・ 「普天間飛行場の移設に係る措置に関する協議会」において、埋立地を移動させることにより合意を加速化させる必要があるのではないかと。
- ・ 東シナ海日中中間線付近のガス田について、日本寄りの場所において開発を進めていく必要があるのではないかと。
- ・ 我が国と台湾の交流推進のため羽田空港の再拡張時において羽田・台北間の定期便を開設する必要があるのではないかと。

田端正広君（公明）

- ・ 自衛艦のこれまでの事故に対して福田内閣総理大臣はどのように認識しているか。また、今後の自衛隊の在り方について福田内閣総理大臣はどのように考えているか。
- ・ 護衛艦「あたご」の航海長の事情聴取に際し、海上保安庁への連絡が遅れたこと及び海上保安庁と認識の相違があることについて、はっきりとした説明を求めたい。
- ・ 沖縄における米軍海兵隊の不祥事に対して再発防止のためにどのように取り組むか。

前原誠司君（民主）

- ・ 護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故において、捜査権を有する海上保安庁の頭越しに防衛省による聴取が行われたことに対して、冬柴国土交通大臣はどのように考えるか。

- ・イージス艦等の大型の船は港への出入りの際に最もテロ攻撃などに脆弱な状態になると思われるが、どのような対策を行っているのか。
- ・防衛省の組織改編について、内局といわゆる「制服組」との関係など、石破防衛大臣はどのような組織をイメージしているのか。
- ・沖縄在日米軍海兵隊のグアム移転において、どのような部隊をグアムに移転するかということについて、米側に日本側の考えを伝える必要があるのではないか。

武正公一君(民主)

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」衝突事故について初動対応で内閣情報集約センターに連絡が遅れた理由はないか。
- ・護衛艦「あたご」が横須賀に寄港する前に海上保安庁が護衛艦を任意捜査すべきだったとの意見に対して冬柴国土交通大臣はどう考えるか。
- ・第一次裁判権を得るための日米地位協定改定の必要性について高村外務大臣はどのように考えるか。

細野豪志君(民主)

- ・中国産冷凍ギョーザへの農薬混入問題に関し、日中の捜査機関で見解の相違があるが、資料請求などきちんと主張すべきではないか、また厚生労働省が商品の回収命令を出さない理由は何か。
- ・東シナ海日中中間線付近のガス田の共同開発に関する交渉の見通しはどのようになっているか、開発場所等について胡錦濤主席の訪日時に明確に主張すべきではないか。
- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故当日の午前中に航海長を呼び出して海上幕僚監部で行った聴取について、海上保安庁の了承の上で行ったか、証人等威迫罪にあたるおそれはないか、また聴取の事実を国会で明らかにするのが1週間遅れた理由は何か。

笠浩史君(民主)

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」との衝突事故について、防衛省と海上保安庁の調整及び情報の公表等に関し、官邸がリーダーシップを発揮すべきではないか、防衛省は情報公表に際して個別に海上保安庁に確認をとっているのか、また、防衛省として出せる事実も公表を遅らせているのではないか。

赤嶺政賢君(共産)

- ・石破防衛大臣が航海長から事情聴取した事実について一週間公表しなかった理由はないか。
- ・護衛艦「あたご」が日付・位置情報などを記録している客観的データを公表するつもりはないか。
- ・福田内閣総理大臣は一昨日会談したライス国務長官に対して今回の沖縄在日米軍海兵隊による未成年者暴行事件に関し抗議を行ったのか。

辻元清美君(社民)

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故の真相究明のためには、石破防衛大臣から責任者を代える必要があると思われるが、福田内閣総理大臣はどのように考えるか。
- ・同衝突事故への対応において、福田内閣総理大臣は危機感が欠如しているのではないか。潜水艦「なだしお」や漁業実習船「えひめ丸」の事故の教訓についてどのように考えているか。

下地幹郎君(国民)

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故の再発防止策として、衝突予防装置の運用方法も加える必要があると思われるが、防衛省はどのように考えるか。
- ・沖縄振興に対する予算措置は現在ばらばらに行われており、効果を上げていないと思われるため、見直しの必要があるのではないか。

金子一義君(自民)

- ・地域経済の活性化のために、平成20年度予算及び歳入関連法案を早期に成立させる必要性について、額賀財務大臣はどう考えるか。
- ・厳しい経営環境にある地方の建設業界の活性化に資する公共事業の品質確保のための関係閣僚会議を開催する必要性について、福田内閣総理大臣はどう考えるか。

富田茂之君(公明)

- ・日韓FTAの意義及びその推進に日韓双方が努力すべきとの意見について、福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・李明博韓国大統領の「非核・開放・3000」構想について、日本政府としては、どのように対応するのか。
- ・「道路整備費の財源等の特例に関する法律の一部を改正する法律案」に規定されている「一般財源化」の趣旨について、額賀財務大臣はどう考えるか。